

【様式 02】 高大連携公開講座シラバス

\* 科目 No. 11205

1. 開設大学	広島経済大学	開講場所 (キャンパス・施設)	本学
2. 科目名	日本人・日本語・日本文化		
	学問分野	番 号	12 名 称 言語学
3. 担当教員	中村克洋 経済学部メディアビジネス学科教授		
4. 開講期間 (曜日) 開講時間	平成 28 年 8 月 9 日 (火) ~ 平成 28 年 8 月 10 日 (水) 10 時 00 分 ~ 16 時 00 分 【1 時限 10:00 ~ 10:50】 【2 時限 11:00 ~ 11:50】 【3 時限 13:00 ~ 13:50】 【4 時限 14:00 ~ 14:50】 【5 時限 15:00 ~ 16:00】		
個別開講日	1 回目 8/9	2 回目 8/10	
5. 募集定員	50 人		
6. 科目内容・ 授業計画	<p>日本人・日本語・日本文化、この三つは、いわば三位一体となって私たちを規定しています。言語の発生から、私たちの現代の暮らしまで、日本人・日本語・日本文化のスパイラルで読み解いていきます。</p> <p>◎ 一日目 (8 月 9 日)</p> <p>① 『人間と言語』 (資料「人類進化 “言語”」) (言語の発生・人類進化と言語)</p> <p>② 『言語とは』 (コミュニケーション手段としての『言語』の定義) (「ラング」と「パロール」・他言語と日本語の比較研究)</p> <p>③ 『日本語とは』 (資料「茶の湯」) (「言語・人間・文化」のスパイラルの例示)</p> <p>④ 『日本語とは』 (資料「秋田の五十音」「方言」) (発声技法研究・日本語の話し言葉表現の特性については後述)</p> <p>⑤ 『日本語の身体表現技法』 (資料「人類進化 “表情”」) (「言葉」と「話し方」の理解・ミラーニューロンと身体表現)</p> <p>◎ 二日目 (8 月 10 日)</p> <p>⑥ 『日本語の説得技法』 (日本語の会話表現技法と説得・古典的説得技法) (質問によるアサーティブ・リアクタンスを生まない理想の説得技法)</p> <p>⑦ 『日本語の E &amp; E 会話技法』 (よりよいコミュニケーションを構築する)</p> <p>⑧ 『言霊と日本人・日本文化①』 (資料「桓武天皇と怨霊信仰」) (言霊と日本の歴史・文化)</p> <p>⑨ 『言霊と日本人・日本文化②』 (資料「百人一首と言霊」) (忌み言葉と現代日本文化)</p> <p>⑩ 『日本語と私たちの暮らし方』 (日本語の話し言葉表現の特性・日本語と日本人の暮らし・将来) (日本語文化の中の日本人として生きるためのいくつかのヒント)</p>		
7. 受講料	なし		
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) なし		
9. 開講条件※1 あり・ <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>① 最少開講人数 ( ) 人 定員超過の不許可は選考により決定</p> <p>② 不許可・不開講通知日 (7 月 15 日 (金) 以前の開講科目は 3 月末まで / 7 月 16 日 (土) 以降の開講科目は 6 月末まで)</p>		
10. その他特記事項	受講者についての制限事項、事前に予習しておく資料・文献など特記すべきこと 特になし		
11. 開設大学への 交通手段	http://www.enica.jp/ から開設大学のホームページにジャンプして確認してください。		

※1 申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。